



TITLE:

表紙・投稿規定・プレプリント・  
編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・投稿規定・プレプリント・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究  
1975, 25(3): 231-240

ISSUE DATE:

1975-12-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/89079>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
昭和50年12月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第25巻 第3号

**vol. 25 no. 3**

# 物性研究

**1975/12**

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、また掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上でprivate communication扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するために原稿は極力簡潔にお書き下さい。原稿は400字詰原稿用紙を使用し、原則として30枚以内とします。30枚を大巾に越える場合は、内容の概略、予定の頁数をそえて編集部にご申し出下さい。
2. 数式、記号の書き方はProgress, Journalの投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、oとaと0(ゼロ)、uとnとr、cとe、l(エル)と1(イチ)、xと×(カケル)、uとv等が一番間違いやすい。
3. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
4. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
5. 図の縮尺、拡大は致しません。1頁以内に入らない図(13cm×19cm)は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
6. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
7. **別刷は原則として作りません。**どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、**現金で納入**していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受とってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

8. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

[東大・久保研]

- (157) 1. D. C. Licciardello and D. J. Thouless  
CONSTANCY OF MINIMUM METALLIC CONDUCTIVITY IN TWO  
DIMENSIONS
- (158) 1. H. van Beijeren and J. R. Dorfman  
STOKES PROBLEM IN KINETIC THEORY
- (159) 4. Toru Moriya  
Theory of Spin Fluctuations in Itinerant Electron Ferromagnets  
– Persistence of Spin Waves Above  $T_C$
- (160) 12. JP MAREC, HT HUYNH, AM MAINGUY AND D. GAMBIS  
CONTROLE D'UN SATELLITE DE NAVIGATION A TRAINEE  
COMPENSEE
- (161) 12. Koichiro Matsuno  
Ergodicity of Quantum Mechanical Systems
- (162) 20. Harold Weitzner  
Reflection of a Point Disturbance from a Conducting Wall in Two-  
Dimensional Magnetohydrodynamics
- (163) 20. Charles E. Seyler Jr.  
GUIDING-CENTER PLASMAS AND INVISCID NAVIER-STOKES FLUIDS  
IN TWO DIMENSIONS
- (164) 22. Klaus Hepp  
RESULTS AND PROBLEMS IN IRREVERSIBLE STATISTICAL  
MECHANICS OF OPEN SYSTEMS
- (165) 22. T. Fukase, M. Tachiki, N. Toyota and Y. Muto  
ANOMALIES IN THE LONGITUDINAL ULTRASONIC ATTENUATION  
AND THE VELOCITY VARIATION IN THE MIXED STATE OF A  $V_3Si$   
SINGLE CRYSTAL
- (166) 23. H. Kamimura, A. M. Glazer, A. J. Grant and Y. Natsume  
THE BAND STRUCTURE AND OPTICAL PROPERTIES OF SULPHUR  
NITRIDE POLYMER I. BAND STRUCTURE

- (167) 25. Fumitaka Matsubara and Masateru Sakata  
Theory of the Random Magnetic Mixture III  
— Glass-Like Phase —

[広島大・川村研]

- 50.10.29. G. Bobel, M. R. Cimberle, F. Napoli and C. Rizzuto  
Deviations from Matthiessen's Rule in K and Li: A Comparison with  
Other Metals

---

ニュース

---

[東大・教養]

・物性コロキウム

- |        |   |
|--------|---|
| 10月17日 | A Model of Inelastic Boundary Heat Transfer<br>東大教養 生井 沢              |
| 10月24日 | Li Metal の Soft X-ray Absorption<br>" 有 沢                             |
| 10月31日 | MoS 反転層の物理<br>" 植 村   |
| 11月 7日 | Renormalization theory of critical Dynamics in a Bose System<br>" 田 中 |
| 11月14日 | X-rayによる TTF-TcNQ の Peierls 転移観測<br>" 鹿児島                             |

・教室談話会

- |        |                            |
|--------|----------------------------|
| 11月 4日 | Muon Spin 回転と物性<br>東大理 山 崎 |
|--------|----------------------------|

[東大・物性研]

・土曜輪講

- |        |  |
|--------|--|
| 10月 4日 | "(100) 面 $S_i$ 反転層における Valley-Orbit 分裂"<br>大 川 房 義 氏 (東大理) |
| 10月18日 | "不整列イジング・スピンの束縛されよフレンケル励起子"<br>山 口 豪 氏 (物性研)               |

・談話会

- |        |   |
|--------|---|
| 10月 6日 | "Magnetic Resonance without Magnet"<br>J. H. Van der Waals (ライデン大学) |
|--------|---|

ニュース

- 10月20日 “結晶中の非線型光パルス”  
秋 元 興 一 氏 (物性研)
- 10月21日 “Changes of Infra-red and Raman Spectra due to structural phase transitions”  
V. Dvorák氏 (チェコ科学アカデミー物理学研究所)
- 10月27日 “Magnetic Resonance Studies of Trivalent Rare Earth Ions in the  $\text{LaCl}_3$  Crystal”  
C. A. Hutchison 氏 (シカゴ大学)

[北大・堀研]

・談話会

- 7月10日 動的臨界現象の最近の話題  
川 崎 恭 治 氏 (京大・基研・教授)
- 10月 2日 Modern Developments in Thermodynamics of Processes  
J. Meixner 氏 (ドイツ Aachen 大学教授)
- 10月30日 層状半導体の物性  
仁 科 雄一郎 氏 (東北大・金研・教授)
- 11月13日 減衰の大きいポラリトンによるラマン散乱  
中 村 輝太郎 氏 (東大・物性研)

[名古屋大学]

・談話会

- 10月24日 “Ethology と Physiology”  
桑 原 万寿太郎 氏 (上智大)
- 11月21日 “強磁場中の電子正孔液体と  $B_1$  の超音波吸収”  
福 山 秀 敏 氏 (東北大)

掲 示 板

昭和50年12月1日

財団法人 湯川記念財団

理事長 湯 浅 佑 一

湯川記念財団奨学生募集について

このたび、左記要項により昭和51年度奨学生を募集することになりましたので、貴部内関係者に周知方よろしくお願いします。

なお、外国留学中の有資格者に対しても、適宜の方法にてご連絡をお願いします。

記

奨 学 生 募 集 要 項

1. 応 募 資 格

大学院博士課程修了者および昭和51年修了予定の理論物理学研究者（この奨学金は大学院博士課程修了者に、その研究の完成を援助する目的をもって重点的に交付される、いわゆる Post Doctorial Fellow ship として支給されるものである）

2. 支 給 金 額

月 額 35,000 円

（原則的にはこの最高額が支給されるが、研究者の他の収入、研究場所などによって、それより減額される場合がある。更新は認められるが継続3カ年をこえないものとする）

3. 研 究 場 所

基礎物理学研究所において研究することを原則とするが、事情により他の適当な場



掲示板  
所であってもよい。

#### 4. 募 集 人 員

3 名（内訳はだいたい素粒子論 2 名，物性論 1 名，中間の領域については適宜に定める）

#### 5. 応募書類および審査

希望者は所定の申込書に，発表論文リスト，主な論文の別刷，1 カ年の研究題目と計画を各 2 部ずつ添付して，昭和 51 年 1 月 31 日までに京都市左京区北白川小倉町 50 の 227 湯川記念財団あて送付すること。

他に奨学金その他の収入のある場合，および研究場所についてとくに希望のある場合などは必ず書き添えること。

審査は基礎物理学研究所運営委員会に依頼する。この審査会では，それぞれの専門に近い委員 2 名が論文について調査し，その報告に基づいて審査会が候補者をきめ，財団の理事長に推薦する。

昭和 50 年 12 月

財団法人 湯川記念財団

## 湯川記念財団奨学生申込書

このたび、別紙関係書類を添えて、貴財団奨学生に応募  
いたしますからよろしくお願いします。

昭和      年      月      日

本 籍

現住所（〒      ）（郵便物が届くよう詳細に）

氏名

印

昭和      年      月      日生

財団法人 湯川記念財団

理事長 湯 浅 佑 一 殿

# 略 歴

氏名

高等学校	昭和 年 月 高等学校 課程卒業
大学	昭和 年 月 大学 学部 入学
	昭和 年 月 大学 学部 学科卒業
大学院	昭和 年 月 大学大学院入学 専攻科目 昭和 年 月 博士課程修了見込

Errata to "Introduction of a new principle in the theory of magnetism II"  
by Shuichi IIDA, Vol. 24 (1975) 207 - 246.

Corrections ( $\pm n$  indicates the  $n$  th line from the top or bottom)

	original	corrected
p. 209 Eqs. (1), (2)	C	c
p. 210 Eq. (3), (4)	C	c
Eq. (4)	$f C_\lambda$	$f C_\lambda$
p. 211 Eq. (6)	C	c
p. 212 Fig. 1 caption	$C_2$ 's	$C_2$
p. 213 Eqs. (8), (9), (10)	C	c
- 1	$f \mu$	$f \mu_2$
p. 214 Eq. (13)	$\frac{I_2}{c} \cdot d\mathbf{s}_\alpha$	$\frac{I_2}{c} \cdot d\mathbf{S}_\alpha$
+ 6	Here *	Here *
- 4	$-(\mu_2 \cdot \mu_{21})$	$-(\mu_2 \cdot \mathbf{H}_{21})$
p. 215 + 5	Eq. (4)	Eq. (6)
+ 7	$\Delta L$	$\Delta I_L$
- 5	$\phi_1 \uparrow \downarrow \phi_2$	$\phi_1 \uparrow \uparrow \phi_2$
p. 217 - 5	reglect	neglect
p. 218 + 3	The the	Then the
Eq. (24)	ds	dS
	( ) $U_L dM$	( ) $U_L dM$
p. 219 Eq. (30)	$\delta t ds$	$\delta t d\mathbf{S}$
+ 3	Eq. (27)	Eq. (29)
+ 5	Halmholtz	Helmholts
p. 220 - 12	constatn	constant
p. 221 Eq. (54)	.ds	.dS
	[ ] dV	[ ] dV
p. 222 + 3	contribution	contributing
Eq. (57)	$\frac{\partial \mathbf{B}}{\partial t} dV$	$\frac{\partial \mathbf{B}}{\partial t} dV$
p. 224 Eq. (77)	=	=
+ 8	$(\delta M / \delta H)$	$(\partial M / \partial H)$
+ 12	practionse	practice
p. 225 + 11	of the electrons and	of the electrons and
- 9	Eq. (40)	Eq. (30)
p. 230 - 6	the radiation <sup>7)</sup>	the radiation <sup>7)</sup>
p. 232 - 16	In part <sup>2)</sup>	In part <sup>12)</sup>
p. 235 - 8	$-c \iint_S \mathbf{E} \times \mathbf{H} \cdot d\mathbf{S} =$	$-c \iint_S \mathbf{E} \times \mathbf{H} \delta t \cdot d\mathbf{S} =$
p. 237 + 1	$\sum_i \Delta I \frac{\delta \phi_i}{c}$	$\sum_i \Delta I_i \frac{\delta \phi_i}{c}$
p. 238 + 3		(130)
p. 240 - 2	$\delta B$	$\delta \tilde{B}$
	$(H_{ext} + M)$	$(H_{ext} + \tilde{M})$
p. 242 + 1	$\iiint_{V-V} (\frac{H_{ext}}{2})$	$\iiint_{V-V_\mu} (\frac{H_{ext}^2}{2})$
- 5	in practics usually	in practice
p. 244 - 5	Eq.) 107)	Eq. (107)
p. 245 + 4	Protessor	Professor

## 編 集 後 記

「基研散策コース」に対抗して「基研ドライブコース」，「基研スキー案内」でも書こうかと思ったが，又どこかに出ているのと同じになるといけないのでやめることにした。一つだけ言えば，基研から車で20分，八瀬からケーブルと徒歩で20分足らずの比叡山スキー場はあまり知られていないようである。人工雪だが天然雪が十分ある時もあり，質もそれ程悪くない。ナイターもあるので研究会の後でも行ける所がミソ。

所で，学会で発売した小林氏の液晶のReviewは好評でした。せっかくの力作なので，出来るだけ多くの人に読ませたいという事でしたが，どれだけ売れるか予想が難しい所でした。このプランを提案した某氏，意外に商才ありとはかげの声，ただし利益の事は全然考えていないので念のため。

(A. K.)

### 物 性 研 究

第25巻 第3号

1975年12月20日発行

発行人 川 崎 恭 治

京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所

京都市上京区上長者町室町西入  
TEL(441)1659(431)4789

発行所 物性研究刊行会

京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

## 編 集 後 記

「基研散策コース」に対抗して「基研ドライブコース」，「基研スキー案内」でも書こうかと思ったが，又どこかに出ているのと同じになるといけないのでやめることにした。一つだけ言えば，基研から車で20分，八瀬からケーブルと徒歩で20分足らずの比叡山スキー場はあまり知られていないようである。人工雪だが天然雪が十分ある時もあり，質もそれ程悪くない。ナイターもあるので研究会の後でも行ける所がミソ。

所で，学会で発売した小林氏の液晶のReviewは好評でした。せっかくの力作なので，出来るだけ多くの人に読ませたいという事でしたが，どれだけ売れるか予想が難しい所でした。このプランを提案した某氏，意外に商才ありとはかげの声，ただし利益の事は全然考えていないので念のため。

(A. K.)

### 物 性 研 究

第25巻 第3号

1975年12月20日発行

発行人 川 崎 恭 治

京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

印刷所 昭 和 堂 印 刷 所

京都市上京区上長者町室町西入  
TEL(441)1659(431)4789

発行所 物性研究刊行会

京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

## 購読規定

### 個人購読

1. 会費 当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるだけ1年間分会費を御支払い下さい。  
なお新規購読の場合は下記の会費以外に入会金として、100円をお支払い下さい。

#### 1年間の会費

1st volume	2,340円
2nd volume	2,340円
	計4,680円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です。)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。  
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
3. 雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
4. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols. 以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受けるようになった場合は、必ず「個人購読中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

### 学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校・研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1 Vol. 4,380円、1冊730円です。この場合、入会金は不要です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。  
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。

物 性 研 究 25—3 (12月号) 目 次

○超流動 $^3\text{He}$ -A に於る軌道角運動量について……………	石川正勝…………129
○Interaction between Interstitials and $\alpha$ - $\alpha'$ Phase Transition in Metals ……………	増田欣一…………139
○液体 $^4\text{He}$ におけるRipplonの集団運動について……………	唐島照介, 中島 滉…………155
○物性若手「夏の学校」サブゼミの報告……………	物性若手グループ事務局…………161
○液体の動的臨界現象と音波……………	原田義文…………167
○プレプリント案内……………	…………231
○ニュース……………	…………233
○掲 示 板……………	…………235
○訂 正……………	…………239
○編集後記……………	…………240



物 性 研 究 25—3 (12月号) 目 次

○超流動 $^3\text{He}$ -A に於る軌道角運動量について……………	石川正勝…………129
○Interaction between Interstitials and $\alpha$ - $\alpha'$ Phase Transition in Metals ……………	増田欣一…………139
○液体 $^4\text{He}$ におけるRipplonの集団運動について……………	唐島照介, 中島 滉…………155
○物性若手「夏の学校」サブゼミの報告……………	物性若手グループ事務局…………161
○液体の動的臨界現象と音波……………	原田義文…………167
○プレプリント案内……………	…………231
○ニュース……………	…………233
○掲 示 板……………	…………235
○訂 正……………	…………239
○編集後記……………	…………240